

## 社会言語学の枠組み

■井上史雄/田邊和子[編著]／A5判／本体2,200円＋税

社会言語学という学問の全体が論理的にわかるよう、変異を扱う方向と談話を扱う方向を組みあわせる体系的な枠組みを採用した新しい入門書。各章に【推薦図書】と【調査の課題】があり、大学生向けテキストに最適。もちろん独習にも。



## 都市空間の言語生態 上海の言語景観と道路命名の歴史

■彭国躍[著]／A5判／本体5,400円＋税

中国の近代都市、上海の公共空間に現れる書記言語の生態の歴史を探究する。主に20世紀の間に上海の都市空間に表示された言語の種類、表現の内容や文字の形態が社会的環境の中でどのように変容していったのかなどを明らかにする。



## ミステリードラマの日本語 発話と記号の演出を探る

■泉子・K・メイナード[著]／A5判／本体5,400円＋税

談話分析の第一人者である著者が、2010年以降に放映されたミステリードラマ25作品253話分の会話を詳細に分析し、ドラマ制作者の想像的で複雑な演出のプロセスを、言語学、会話・談話分析、記号論の視点から明らかにする。



## 「させていただく」大研究

■椎名美智/滝浦真人[編]／A5判／本体3,600円＋税

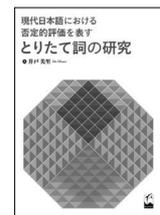
なぜ皆、こんなにも「させてください」にいるのか？ 敬意不足が気になってつい使ってしまう現代人に贈る論文集。時空を旅し、辞書から漫才、食べログ、歌詞など探索し、「一人勝ち」の原動力を考えながらその正体に迫る。



## 現代日本語における否定的評価を表すとりたて詞の研究

■井戸美里[著]／A5判／本体3,600円＋税

現代日本語の否定的評価を表すとりたて詞（など・なんか）を中心に、その形態・統語的特徴と意味的特徴を記述的に一般化する。先行文脈との意味的な関係性の違いが、その文法的振る舞いに本質的な影響を与えていることを主張する。



## 手話言語学のトピック:基礎から最前線へ

■松岡和美/内堀朝子[編]／A5判／本体3,500円＋税

言語学の知識を既に身に付けている読者を対象として、「目で見える生活様式（文化）を持つろう・難聴コミュニティで自然に発生した言語」の研究の基本的な知識と近年の動向について日本語で情報を得ることを目的として作られた一冊。



## 日本語受身文の新しい捉え方

■庵功雄[編著] 志波彩子/村上佳恵/大関浩美/定延利之/前田直子/菊地康人/増田真理子[著]／A5判／本体3,200円＋税

現代日本語の受身文（受動文）の新しい捉え方を提案する論文集。受身文研究の外観、日本語教材での扱われ方と指導のアイデア、コーパスや第二言語習得からみた受身、視座に関する論考などを含めた受身研究に新風を起す7篇を収録。

